



市民生きもの研修会「生きものの暮らしを知ろう」

第2回 佐渡に生息する希少な種「サドガエル」と「トキ」

米と共に田んぼが育む生きものたちの暮らしぶりを知ると、普段田んぼ仕事の際にみていた景色や足下にいる生きものたちへの“まなざし”が変わります。

今回の市民生きもの研修会では、佐渡に生息する希少な種ふたつについて講演をしていただきます。昨年12月に、テレビや新聞で紹介されて記憶にも新しい新種「サドガエル」、そしてそのサドガエルを食べているという「トキ」についてです。あわせて、昨年に佐渡で実施されたアカトンボ調査の報告も行います。直前のご案内となりましたが、皆様の参加をお待ちしています。



日 時 2013年2月11日（月・祝） 9:00～12:00（開場 8:30）

場 所 トキ交流会館 大ホール（新穂 潟上温泉となり）

内 容 講 演

- ・「新種（サドガエル）について」 関谷 國男氏
- ・「トキの目からみた田んぼ」 中津 弘氏

調査報告

- ・「2012年度アカトンボ調査の報告」 粟生田 忠雄氏

参加費等 入場無料、申込み不要

主 催 （社）佐渡生きもの語り研究所

〒952-0103 佐渡市新穂潟上 1101-1 トキ交流会館内 TEL/FAX:0259-22-2658

講師の紹介

関谷 國男（せきや くにお）理学博士

新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター 協働研究員

1997年5月、佐渡でカエルの調査中に佐渡島西岸付近の水田でのちのサドガエルを発見し研究を続け、2012年にこのカエルが新種と認定された。

中津 弘（なかつ ひろむ）

新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター 特任助手

放鳥トキの観察などに従事し、田んぼや雑木林に棲むその他の鳥類についても調べている。

粟生田 忠雄（あおうだ ただお）

新潟大学 農学部助教

全国的にアカトンボが減少していると言われているが、その原因を究明するために、2011年から新潟県内の農家に呼びかけ、アカトンボのヤゴの抜け殻調査を行っている。

- 問い合わせ・申込先：(社) 佐渡生きもの語り研究所
〒952-0103 佐渡市新穂潟上 1101-1 トキ交流会館内
TEL & FAX : 0259-22-2658 (TEL 平日 9:00 ~ 18:00)
URL : <http://sado-ikimonoken.jp/>